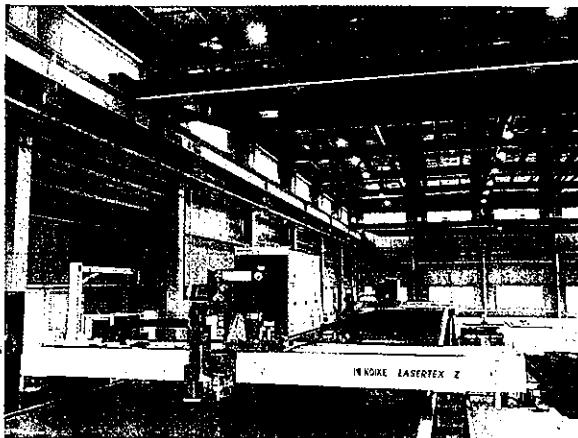


## アカシ



#### 新工場に設置した2基のレーザー加工機

月間加工  
20%引上げへ

# 新工場が稼働開始

【高浜】厚鋼板加工業者のアガシ（本社川愛知県高浜市 加藤紹也社長）は、先月竣工した瀬戸（あおみ）工場の設備設置などを終え、本社事務業務も移し今日、7日から稼働を開始した。炭酸ガスレーザー2基による24時間連続稼働で、需要家のニーズに合致したタイミングでの製品供給を徹底、流通筋からの需要取り込みも図り、数年内に月間加工量を600トンと従来比20%引き上げる。将来的には工場建屋の増築、拠点集約も目指す。

新工場は敷地5144.5平方㍍、建屋1475平方㍍（事務所含む）、JFEビルのシステム建築で建設。インクジェットマーキング装置付きの小池酸素工業製4キロ・炭酸ガスレーザーを2基導入、レールスパン幅6㍍×長さ52・8㍍の軌条に直列配置。4・8トントン走行クレーンを3基設置した。人員は8人でスタート。

レーザーの24時間連続稼働に加え、2基とも切断と製品搬出を同時に使うシャトル式で操業することで、生産性が大幅に向上。各機種を中板用、クレーン用、部材の13点材用と向け先別で効率的な運用を

図り從来、本社工場が担当っていた分野を担当する。印字装置の導入で製品番号記載などの効率、正確性も向上させる。

本社工場は、ガス、プラスマ、レーザーの設備体制で、地元需要家向けに板厚6~50mmまでを担当。レーザー2基のうち1基は最大対応板厚を從来の19mmから22mmに拡大。新工場の能力を補完し全社的な効率化も図る。

新工場は安全への配慮を徹底。通路の確保やクレーンへのスイベル設置によるワイヤー跳ねの防止、レーザーへの昇降ステップ設置による転倒防止なども図つてある。

図  
同社はこれまで、本社と第2工場とで土木関連や産業機械部材、店舗向けに中板・厚

板の切板加工をてかってきたが、需要家からの数量増やシャストーンタイムでの供給アズが高まる中、既存場の手狭化で店売りのけを中心し受注を断ちケーズも生じていたことから、新工場の建設を決定。第2工場は月上旬に閉鎖する。  
新工場の稼働では、「品質や生産性、よりも操業安全性を高め、信頼のアカシ」を徹底していく」(加藤社長)方針だ。  
碧海工場の住所は浜市碧海町1-2-5、電話0566-52

—25508、FAX  
5666-52-28826  
(5面)関連記事